



「日本の伝統は融合文化なのです。」

所沢市文化団体連合会 会長

高田 俊一



所沢市と言う三十四万人もの人々を抱える大きな市の文化を担っている歯車の一つとなつていきます、所沢市文化団

体連合会の会長と言う大役を仰せ付かり、早くも数年が経ちました。その間、世界も日本も所沢市も大きな変化に見舞われました。コロナウイルスという疫病の蔓延による影響での活動自粛も長く、やっと第五類に移行し、新たな春息吹が芽生えようとしています。そして世界各地を襲った沸騰化と言われるほどの温暖化による異常気象に伴う大規模な森林火災、極端な豪雨による大水害、総ての植物が枯死してしまうような大旱魃による砂漠化、北極南極の氷山融解での海面上昇、海水温度の高まりによる熱帯性低気圧の強大化などが相次いでいます。そのためか人心も不安定になり、領土的野心を剥き出しにした戦争や強迫や脅威が渦巻いてきていま

す。その様な変化は益々勢いを増して私達の周りに存在します。

さて、そんな状況の中で、中核都市を目指すというこの所沢が自分達の命を繋ぎ、生きて行くために本当に必要なのは、文化芸術という蔭の力であると考えます。経済や政治、武力を表の力とすれば、許容・協力・共助の精神を持つ、裏からの支えとなるものが文化であると確信しています。表面的には伝統を守ると言う大きな使命を根幹としつつ、それでも新しき時代への対応を取り入れて行かなければ、伝統すら守り得ないということになってしまいます。このようなピンチの時こそ、今がチャンスなのです。そして現状を守るだけでは激しく流動する世の流れから取り残されてしまうのです。逆に言えば、新しい流れを創り出す位の意気込みを以て挑戦して行かなければ置いていかれてしまう時代なのです。そう、チャレンジなのです。自らの姿勢を変革していくことが不可欠なのです。それがチェンジという言葉になります。私達の生きるこの世界は、常に変化していくものなのです。お釈迦様の言葉で言えば、諸行無常、諸法無我という。言葉を変えて言えば、色即是空、空即是色となります。ここでは詳細に説明することは差し控えますが、同じ言葉を繰り返している訳ではありません。「色は即ち是れ空なり」は、物体や決まりなどは変化するものだから、そういうものに執着することなく、空と言う仮の状態だと認識して諦めなさい、といういくらか消極的な表現です。そして次の空即是色は最も大切なことなのですが、「宇宙の真理は空なのだから、人の叡智と努力によ

り、新しい色という物質や感じ方・考え方を創り出していきますよ」という積極的思考の教えなのです。

宗教は溺れたり、固執してはいけません、文化を考える上で、無視出来ないものが沢山あります。祭りや雅楽、舞い、節句などの習俗、キリスト教からの行事も取り込み、大陸からの漢字文化から平仮名カタカナを創り出し、最近では横文字言語をカタカナ表記やアルファベットで日常の伝達手段に加えています。日本と言う国は、これら世界の習俗を融合させて、独特な文化を形成させてきたのです。要するに儒教で言う中庸、仏教では中道の気持で極端に走らず、文化芸術の奥にある見えない力や、科学や最先端技術をも活かしながら自分達の血肉としていく、広い心で伝統文化を更に発展させて行くこうではありませんか！

そこで皆様にお願ひなのですが、積極的思考・肯定的表現を以て、折角与えられた人生を有意義に使ってみたいと思います。是非ともお互いに切磋琢磨しながら、この所沢市の本当の力、文化・芸術の街として、積極的に発展させてみませんか！同志を募ります。協力して下さい。





## 映像はコミュニケーションツール

所沢市映像連盟 会員

山本 治

1999年9月日本の京セラが世界初の二つ折りカメラ付き携帯電話を発売した。その衝撃は先進各国に開発競争を促し、8年後の2007年6月にアップル社がiPhoneを発売、画面の大きさは3.5インチだった。続いて2008年台湾のHTC社がアンドロイド携帯を発売。日本での販売は2009年7月、ドコモから発売となった。その後の世界は携帯端末無しに生活することが難しくなっている。携帯端末に先行したパソコンすら使用頻度では圧倒的に携帯端末が上回っている。コミュニケーションのありようが変わったといえる。



コロナ騒動はビジネスの意思決定方法も変えてしまった。パソコンでのリモート会議、企業内では中間管理職の位置づけが微妙になったと言われている。まさに意思決定者とその他大勢だ。そこにも情報機器の進化が関係している。表現者達はどうかというところ、NHKでみたオーケストラのリモート演奏会は圧巻だった。NHK技術者達の努力の賜物、リモートでもズレが全くなかった。各楽器奏者の電波を受信側でどのように平準化させたのか好奇心のテンションが上がった。

日本におけるスマホ・PC交流サイト(SNS)利用状況は2023年現在、民間調査団体報告によれば、利用者数でライン9500万(2023)・X(旧ツイッタール)4500万(2017)・インスタグラム3300万(2019)・フェイスブック2600万(2019)・ティックトック1700万(2021)、特にラインでは10〜50代で90%以上、60代で83%、残念ながら70代以上のデータはないが他のSNSを圧倒していることは変わらないらしい。また、どのSNSでも女性利用者が男性より多い。ここでは文字・写真・アプリ・動画が活躍している。

大学生向けの企業セミナーにブースを設置した40代息子の会社では、会社紹介ビデオを制作会社と作った際、強調されたのは時間は3分以内だといわれたらしい。若い世代はコミュニケーションにもスピードを求めていることを実感したようだ。

我々アマチュアが創る映像作品は10〜20分は力を入れないと作れない。そこで、2022年・

2023年と発表会に工夫を凝らし、特に第一部は3〜5分の短い作品群、さらに制作の裏側を上映後に作品ごとに紹介し、来場者と共有できる映像発表会へと意味付けを変えた。また「Tokorozawa映像サロン」と名称も変えた。それは二年続けた来場者アンケートが、コミュニケーションとしての映像発表会へ変わるヒントをくれた様に思う。ぜひ皆様のご来場をお待ちしています。

## 囲碁はやるほど楽しい！

所沢市囲碁連盟 会長

加藤 市男

囲碁に興味があるけれども何だか難しいと感じている人がいます。初めての方が囲碁を始めるにはぎっかけが必要だと思います。囲碁を楽しむ場所として碁会所がありますが、所沢市では碁会所がどんどん減少しています。反面、ネット対局が盛んになって来ましたが、昨年中学生がネットで囲碁をしている親から相談を受けました。「市内で中学生が囲碁を打てる場所を教えてください」とのことでした。公民館の囲碁サークルを紹介しましたが、対局相手は高齢者のみなので躊躇しているようです。

囲碁は年齢や性別に関係なく対局することが出来ます。また、対局をすれば相手のことが良く分かります。一見穏やかな人でも相手の石を取ることを追求する人が多いです。囲碁には「頭を叩く」「切る」「死ぬ」など物騒な言葉があります。日頃は抑えていた戦いの血が呼び起こさ



れ、勇ましい戦士に変貌します。相手の一面を垣間見ることが出来ます。コミュニケーションが苦手な私でも対局することで会話を楽しんでいます。

所沢市囲碁連盟は囲碁大会の開催や文化祭総合フェスティバルでの展示、近隣市囲碁連盟との交流などを行っています。その活動はホームページ「プロペの囲碁」に掲載しています。今後も一人でも多くの方に囲碁の魅力を分かっていたくため、愛好家の皆様と力を合わせて囲碁の普及に取り組んで行きたいと考えています。よろしくお願いいたします。



## 大西民子偲ぶ

所沢市短歌連盟 事務局

伊藤 光富久

大西民子（私より一歳上）を知ったのは、盛岡女学校の国語の先生からで、私達の国語の先生が日中戦争に召集されたからである。この先生はとても厳しく女学校の生徒に比べ私達の出来が悪いとおっしゃっておられた。女学校には非常に優秀な生徒がいて大西民子のことをよく話していた。先生があまりにも褒めるので、仲間と見に行く事とした。彼女の家は八幡様の近くと聞き、出掛けた。暫くして現れたが、それは普通の女の子でよく見かけるタイプであった。その後私は高等学校、のち大学の物理学科に進んだ。この間勉強が忙しく短歌に関わっておれなかった。卒業後は大学に残り研究を望んだが、実家ではそれを許してくれず、早く独立せよとの事。会社に入り、七十歳まで会社に在籍した。一九九四年に大西民子は他界したことを新聞で知る。六九歳だった。

平成十年短歌の結社に入り、今年で二十五年になる。今は短歌作りと鑑賞が出来る身となり、会って話などできなかつた同郷の早逝の歌人に思いを致し好きな歌を列記した。昭和三十年ころからだつたらうか、歌壇では新風が吹き、いわゆる前衛が盛んとなり、大西さんもその先頭を走った。その頃の歌である。

一本の木としてわれを思ふとき  
花の終わりに降る雨寒し

地表にいまボール一つが残されて  
外切円をなしてしづまる

円柱は何れも太く妹を

しばしばわれの視野から奪ふ

石臼のずれてかさなりぬし不安

よみがえりつつ遠きふるさと

読みさしの本はたと閉づるその音を

最後に聞きて死ぬのかもしれない

軍用馬にとらわれむ憂ひも今は無く

姿優しきジョッキーが乗る

降り来り餌をついばみて土にぬる

雀にも及ばず死にたるものは





# 所沢市文化団体連合会の大切さ

所沢市華道連盟 会長  
金田 照美

所沢市華道連盟といたしましては、文化団体連合会会員の皆様との繋がりを大切に文化の発展の為に団体一つになり、市民の皆様方に伝えて行く大切さも必要に思います。

そこで、私たち所沢市華道連盟はそれぞれの団体との合同展示会を行いました。互いにご高覧に行く事もなかった方々もコラボレーションに興味をもって頂きご高覧者も多くなりました。

互いに日本の伝統文化を知ること出来コラボレーションは文化を広める意味でもある事を実感する事が出来ました。

今年度も年間行事の一環として所沢市の文化のあかりを広げてまいりたいと願っております。また、今後の日本文化発展の為に文化団体連合会の会員である事を日本の伝統文化を継承の為に意味を持って、心を込めて会員の皆様と心一つにし、楽しみながら進行してまいります。今年度は、日本画院埼玉支部様とのコラボレーションを計画中です。開催の時には皆様のご高覧をお待ち申し上げます。



## 俳句 所沢市俳句連盟

所沢市文化祭令和五年秋季市民俳句大会

第一位 市長賞

産土の杜の郭公ト全忌

名須川 貞夫

第二位 議長賞

近づくと点る門灯虫時雨

粕谷 宰子

第三位 教育長賞

四世代増肥つくりて豊の秋

清水 美代子

第四位 文団連会長賞

葉を叩く音に始まり喜雨来る

鈴木 すぐる

第五位 俳句連盟会長賞

落日の山里麦の花明り

坂本 恭子

第六位

剥落の菩薩の朱唇秋あかね

三澤 俊子

第七位

語部は車椅子から原爆忌

加藤 卓雲

## 短歌 所沢市短歌連盟

### 大河原惇行選

夕空に一筋長く伸びて行く飛行機雲は赤き彼方へ

石井 茂子

剪定を終えたる航空公園の樹々整然としてこがらしを待つ

伊藤 光富久

鈴の尾の元に握りて初詣宮は賑はひ明るき空に

鈴木 かつ

夕光をうけて一本メタセコイヤ木の果て仰げば白き月あり

兼高 俊枝

弟のしはがる声は大腸がんと言葉なきまま数秒の過ぐ

中山 由美子

畑には父が植樹のミカンの木取りきれずいてカラスのえさ

落合 典子

はらからとなかなか会へぬ師走来てふと人思ふ齡となりぬ

松代 忠博

